

よしい清介 活動報告

備後地域の港湾を考える会 尾道糸崎港・福山港整備促進決起大会



まず初めに、よしい清介に対しまして、日頃からご支援・ご鞭撻を頂いていますすべての皆様方に改めて心より感謝申し上げます。

さて、令和5年5月、広島県議会議員5期目早々に、**県議会最大会派・自由民主党議員連盟の政務調査会長に就任**。併せて、同年7月、広島県東部4市2町の国会議員、市町の首長、議会議員、商工会議所・商工会代表者で構成される**広島県備後地域振興協議会の会長**に就任のご報告申し上げます。こうしたことに伴い、

港湾、道路、医療福祉、産業振興の事業等、地域発展につなげる、あらゆる角度からの**政策立案並びにこれに伴う事業実現の予算要求等々を主導的に行う重責を担うこと**となりました。

今日、多くの課題を抱える中、**最重要課題は人口減少問題**であります。広島県はもとより、尾道市の人口減少は、目まぐるしく減少しております。人口減少対策として重要な事項は、①「**地域医療体制の確保**」、②「**教育・子育て支援の充実**」、③「**雇用促進**」であります。特に、①医療につきましては、広島県は県議会との協議を経て、JR広島駅北側に新病院を2030年度開院に向けて準備を進めております。予算規模は、約1500億円で、病床1000床、診療科41科であります。この病院の特徴は、若手人材の育成に力を注ぎ、県内全域に医師の派遣を可能とし、最先端医療の提供を目指すものであります。又、中国地方5県で初の「**小児救命救急医療センター**」の機能も備え、断らない救急対応を行うものです。従って、この計画は、本市を含む県域(23市町)の医療に大きく寄与できるものと考えます。次に、②「**教育・子育て支援の充実**」は、若い世代の定住促進にとって、不可欠な課題であり、同時に、③「**働く場所の確保**」もしっかりと取り組む必要があります。

いずれにしても、人口減少問題は、広島県と尾道市とが密に連携することが肝要で、早急に具体的で効果的な対策を講じる必要があります。さらに、安心・利便性向上のため、新浜美ノ郷線や県道草深古市松永線の基幹道路等、活気溢れる街づくりの基盤整備に奮闘努力して参ります。



新病院イメージ(JR広島駅北300m)

2024年2月県議会(定例会)代表質問



1 人口減少社会に対応した広島県づくりについて

- (1) ひろしまビジョンの加速
- (2) 本県の財政運営
- (3) 人手不足対策の強化
- (4) 高度医療・人材育成拠点構想の推進
- (5) 持続可能な地域交通の構築

2 南海トラフ巨大地震等の大規模災害への備えについて

3 水産資源の回復と後継者の確保・育成について

4 旧広島陸軍被服支廠の今後の取組について

活動内容は、よしい清介ホームページ <https://yoshii-kiyosuke.com> をご覧いただければ幸いです。

きよすけ
— よしい清介 事務所 —

〒722-0037
尾道市西御所町6番3号
TEL 0848-29-9301
FAX 0848-29-9302

